



令和5年度 施政方針 当初予算



3月定例議会で門司町長が令和5年度の施政方針を発表しました。施政方針には、1年間をかけてどのような取り組みを行うのか、まちづくりの方向性が示されています。今回は、その概要と令和5年度予算を紹介します。

問い合わせ 総務課

未来にわたり
「住み続けたいまち」を目指して

まちを取り巻く
国内外の情勢について

【新型コロナウイルス感染症】

国は5月に感染症法上の位置づけを今の「2類相当」から季節性インフルエンザなどと同じ「5類」に移行する方針を決定しました。今後も感染症やワクチン接種に関する国の方針などを注視し、適切に対応します。

【ウクライナ侵攻・物価高騰】

ロシアによるウクライナ侵攻では、侵攻から1年が経過する今なお、多くの尊い人命が奪われています。岡垣町は「核兵器廃絶平和の町宣言」を行っているほか、「平和首長会議」に加盟しており、国内だけでなく、世界の各地域と連携した平和活動を行っています。このため、このような事態は誠に遺憾であり、強い憤りの念を禁じえません。

また、原油価格や原材料価格の高騰など、住民生活や地域経済も大きな影響を受けています。今後、国の動向などを注視し、状況に応じて適切な対策を行います。

【国の少子化対策】

岸田首相は、こども・子育て政策を最重要政策と位置づけ、総合的な少子化対策を進めるとしています。今後は、いわゆる従来とは次元の異なる少子化対策の動向を注視し、国の政策と連携を図りながら、町としての子育て支援を進めていくことが重要だと考えています。

まちづくりの基本姿勢

令和5年度は、第6次総合計画の3年目の年です。計画に掲げる将来像「自然と共生する しあわせ実感都市 岡垣」の実現に向けたまちづくりを継続して進めます。

【まちのブランディングを強化】

町の人口は平成22年11月以降、減少が続いてきました。しかし、令和4年は転入者数も多く、人口が増加となりました。これは、住環境に「自然の豊かさ」や「暮らしやすさ」を重視する人が増えたからではないかと考えています。

福岡県は移住先として人気が高いうえ、岡垣町は昨年、大東建託の



「住み続けたい街ランキング」で県内1位を獲得しました。この状況は町にとって追い風になるものだと考えており、この機会に、町の魅力を戦略的に発信するためのブランディングの強化に向けた取り組みを進め、今後の関係・交流人口、移住・定住人口の増加を図ります。

【持続可能な地域コミュニティへの取り組み】

近年、少子高齢化や働き方の多様化、個人の意識の変化などにより、地域コミュニティの担い手不足や自治区への未加入者が増加しています。さらに新型コロナウイルス感染症の影響で、地域活動は大きく制限を受けました。

一人暮らしの高齢者や空き家の増加、激甚化する災害への備えなど、地域コミュニティの力がなければ解決が難しい課題が多く、今後も地域コミュニティの力はまちづくりに必要な不可欠です。このため、持続可能な地域コミュニティに向けた取り組みを進めます。

【子育て支援策の展開】

近年加速している少子化は、未婚化・晩婚化が大きく影響していると言われていきます。これには、個々人の結婚や出産、子育ての実現を阻むさまざまな要因があり、それぞれが複雑に絡み合っていることが影響していると考えられています。

町では対策の一つとなる子育て支援の充実に向け、新たな施策の実施

や、これまで行ってきた事業の拡充などの取り組みを進めてきました。

また今回、これまでの結婚から子どもの成長に応じた支援策と、令和5年度から新たに実施する支援策を、「おかがき子育て応援パッケージ」として取りまとめました。

今後、子育て環境のさらなる向上を図るとともに、町内外へこれらの施策を積極的に発信していきます。これらの取り組みが、子育て世代の定住者の増加につながり、ひいては出生数の増加につながることを期待しています。

【健全な財政運営の推進】

少子高齢化に伴う社会保障費の増加をはじめ、今後も経常的経費の増加が続くことが予測されます。移住・定住人口の増加を図るための取り組みなど、持続可能なまちづくりに必要な施策の推進や、新たな課題への対応に必要な財源を確保できるよう、まちづくりの基盤である健全な財政運営に取り組みます。



岡垣町長
門司 晋

一般会計予算は118億100万円

歳入

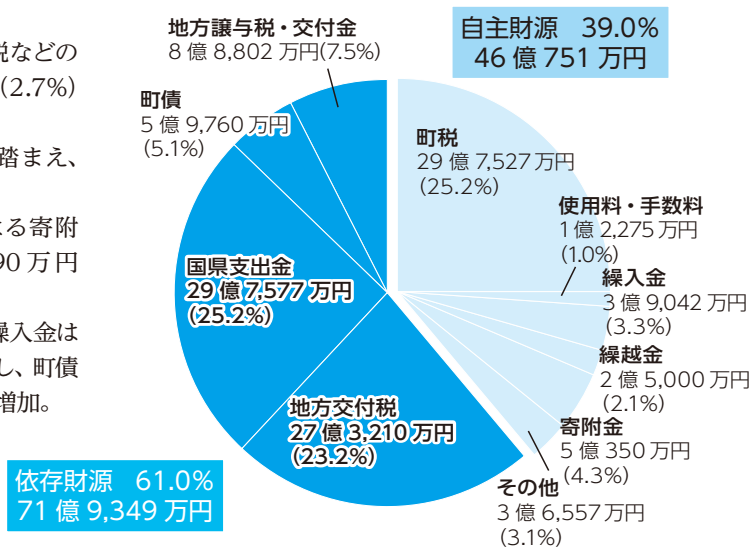
【前年度からの主な増減】

町税 町民税や固定資産税などの増加を見込み、7,945万円(2.7%)増加。

地方交付税 国の計画を踏まえ、8,365万円(3.2%)増加。

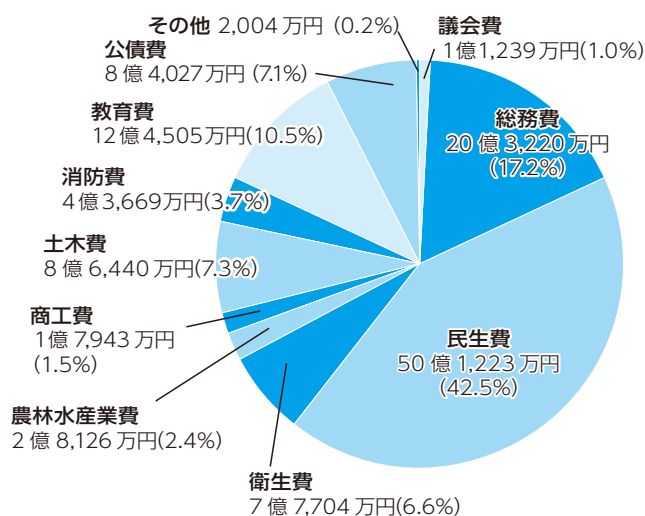
寄附金 ふるさと納税による寄附の増加を見込み、1億290万円(25.7%)増加。

繰入金・町債 基金からの繰入金は1億1,116万円(22.2%)減少し、町債は2億2,540万円(60.6%)増加。



前年度予算から 4億5,600万円(4.0%)の増加

歳出



【前年度からの主な増減】

総務費 新型コロナウイルス感染症対策費の減少などにより、9,783万円(4.6%)減少。

民生費 社会保障費の増加などにより、1億1,348万円(2.3%)増加。

土木費 道路や橋りょうの更新などにより、1億1,728万円(15.7%)増加。

教育費 小中学校の施設整備工事などにより、3億5,618万円(40.1%)増加。

その他の会計

会計名	予算額	会計名	予算額
国民健康保険事業	32億743万円	水道事業	収益的収入 6億1,504万円
		水道事業	収益的支出 5億6,272万円
		水道事業	資本的収入 2億3,506万円
		水道事業	資本的支出 4億6,595万円
後期高齢者医療	6億4,796万円	下水道事業	収益的収入 9億365万円
		下水道事業	収益的支出 8億9,025万円
		下水道事業	資本的収入 2億7,647万円
		下水道事業	資本的支出 5億3,868万円

自然と共生する しあわせ実感都市 岡垣に向けて

令和5年度の主な取り組みについて、新たな施策や重点的に取り組む施策を紹介します。



自然を守り、活かし交流を生むまち



住みやすい生活環境を整えるとともに、町のシンボルである美しい海岸線や森林などの自然を守るため、町と住民が連携した環境保全活動などを推進します。

■三里松原の保全活動への支援	474万円
■森林環境譲与税などを活用した 森林の整備	850万円
■環境啓発・人材育成事業	170万円
■地球温暖化防止事業	1,394万円 など



地域資源を活かし発展するまち

農業・漁業・商工業など、地場産業の経営を支援するとともに、観光協会や観光事業者と一体となって、観光客数の増加や消費拡大に向けた取り組みを進めます。また、民間事業者と連携し、町内外に効果的な情報発信を行います。

■ため池、水路などの 農業用施設の維持管理	6,349万円
■有害鳥獣対策	249万円
■漁業の振興	517万円
■プレミアム商品券発行補助など 商工会への支援	3,377万円
■観光の推進	4,704万円
■緩衝林の整備	1,661万円 など



■子育て応援パッケージ（新規事業）—— 1億788万円

- おかがき出産・子育て応援事業—— 2,300万円
妊婦さんや子育て中の家庭に、安心して出産・子育てをしてもらうため、悩みごとを気軽に相談できる体制を整えます。また、妊娠の届け出後および赤ちゃん訪問後に、それぞれ5万円を給付します。
- おかがき1st バースデーギフト事業—— 801万円
子どもの誕生と、1歳の到達をお祝いし、また子育て家庭の経済的負担を軽くするため、子ども1人当たり3万円（第3子以降は5万円）を給付します。
- こどもの見守りタグ導入支援事業—— 20万円
子どもの安全を守るため、保育施設が「こどもの見守りタグ（GPS）」などを導入するための費用を助成します。
- 小中学校ICT化推進事業—— 6,251万円
学校のICT環境の整備を行い、保護者と速やかな連携がとれる環境を整えます。またICTを活用し、児童生徒の情報教育を強化するほか、一人一人に合わせた学習ができるよう取り組みを進めます。

など



人・つながりが育つまち

新たな子育て施策や既存事業の拡充について、国の政策との連携や、事業の効果、将来的な財政負担などを考慮しながら検討を進め、実施可能なものから事業化を行います。

- 保育サービスの提供—— 8億9,595万円
 - 認定こども園の施設整備への支援—— 1億5,444万円
 - 保育士確保への支援—— 315万円
 - 学童保育所の運営—— 6,666万円
 - 子ども未来館の運営—— 4,103万円
 - 小中学校へのICT支援員の配置—— 1,414万円
 - 英語教育の充実—— 1,513万円
 - 岡垣サンリーアイの運営—— 3億3,934万円
 - 文化財展示室移転事業—— 2,950万円
 - 小中学校の施設改修—— 3億2,712万円
- など



誰もが元気で 自分らしく暮らせるまち

全ての住民が、生涯にわたって健康で生きがいを持って暮らせるよう、ライフステージに合わせた健康づくりを支援します。

また、新型コロナウイルス感染症対策については、国や県の動向を注視し、適切に対応します。

■新型コロナワクチン接種の実施	4,743万円
■健康づくりの推進	3,825万円
■高齢者福祉の推進	7,833万円
■障害福祉事業	11億2,929万円
■介護保険事業	7億1,372万円
	など



道路の補修や更新を行い、安全性を確保します。また、国の施策も活用しながら、事前防災・減災の取り組みを進めます。



安全・快適に暮らせる
持続可能なまち

■道路橋りょうの補修や更新	2億8,948万円
■JR海老津駅前周辺の環境整備	1億4,270万円
■JR海老津駅北側トイレ改修など駅前広場の管理	2,283万円
■コミュニティバスの運行など	8,427万円
■国道3号岡垣バイパス4車線化の早期完成に向けた取り組み	257万円
■総合防災マップの更新などの災害対策	1,642万円
■防犯灯の設置補助やLED化など	1,335万円
■防犯カメラの設置や青パトなどの防犯対策	172万円
■吉木・海老津線の歩道拡幅などの交通安全対策	5,112万円
	など

町詳しい内容の
町公式ホームページから
確認できます。

令和5年度当初予算
詳しくはコチラ



計画推進の基盤

■コミュニティ活動への支援	1,065万円
■ボランティアセンターの運営	813万円
■公民館講座の実施	636万円
■自治公民館活動への支援	489万円
■岡垣町PR戦略推進事業	1,498万円
■おかがき応援寄附金の増加に向けた 取り組みの推進	2億9,840万円
	など